

2015 紀の国わかやま大会 個人競技 選手団別メダル獲得数

選手団	選手 延数	陸上競技			水泳			アーチェリー			卓球			フライングディスク			ボウリング			合計		
		金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅
大阪府	144	31	9	4	12	9	2	0	1	0	3	5	2	6	9	8	3	1	1	55	34	17
大阪市	102	10	11	3	13	8	8	0	0	1	0	4	3	2	4	2	3	0	0	28	27	17
堺市	49	3	2	7	6	0	1	0	1	0	0	2	2	3	2	1	0	1	1	12	8	12

団体競技

大阪府	精神障害者 バレーボール	準優勝
大阪市	知的障害者 バスケットボール 男子	準優勝

大阪障がい者スポーツ指導者

協議会だより

編集・発行 大阪障がい者スポーツ指導者協議会 広報部 平成 27 年 12 月 25 日 第 75 号

<http://osaka-adspo.org/>

スポーツいろいろカーニバル



スラロームは、競走競技なので、まずはセットしたコースで練習



平成 27 年 10 月 11 日（日）に大阪市長居障がい者スポーツセンターで、2015 ENJOY！長居フェスティバルが行われた。

大阪障がい者スポーツ指導者協議会による、恒例「スポーツいろいろカーニバル」を体育室で行い、大阪障がい者スポーツ指導者の皆さんで、準備と進行を行った。

第 4 回スポーツいろいろカーニバルでは、ふうせんバレー・スラローム・カローリングの 3 種目を行った。

コーンを置いて S 字をつくったり、ふうせんバレーのネットを張ったり、カローリングのポイントゾーンを床に張るなど、開場までに準備を終えた。

体験参加者のべ 116 名の方に、障がい者スポーツを試して頂いた。

体験された皆さんは、笑顔で会場を出られた。

今後、スポーツいろいろカーニバルも、回を重ねていきたと思っています。

みなさん！ぜひ、参加していただき一緒に、障がい者スポーツを盛り上げましょう。

（広報：松浦）



皆でスラロームの準備



1 チーム 6 名で、6：6 で試合をする
4：4 や 5：5 など、その場に合わせても OK
全員 1 度はふうせんに触れてから相手コートに返す



大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 2016 新年のつどい 平成 28 年 1 月 10 日

2 階通路・玄関前

10：00～15：30 模擬店・バザー
アリーナのイベント

10：30～15：30 もちつき体験
お正月遊び
書初め

12：00～12：45 昼休憩

12：45 開場

13：00～15：30 かくし芸大会
お楽しみ抽選

大阪市舞洲障がい者スポーツセンターでは、毎年「新年のつどい」が行われています。

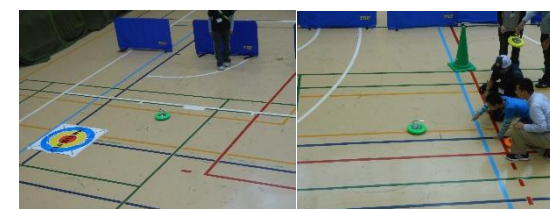
「2015 新年のつどい」から、大阪障がい者スポーツ指導者協議会では、「羽子板コーナー」を担当していますので、お手伝いできる方は、ぜひ気軽に行事を楽しみながら、参加してみてください。

お待ちしております(^-^)

お手伝いいただける方

集合場所：大阪市障がい者スポーツセンター アリーナ
「羽子板コーナー」

集合時間：午後 12:00



ジェットローラをポイントゾーンに向け、ぶつけあい得点を競う



ボッチャ用ボールを利用して



みんなでがんばりました
ハイ！チーズ(^-^)/

第15回全国障害者スポーツ大会

2015 紀の国わかやま大会

躍動と歓喜、そして絆

秋晴れの柔らかな日の紀州和歌山の地にて、平成27年10月24日(土)から26日(月)の3日間、第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」が行われた。

開会式・閉会式会場の紀三井寺公園陸上競技場を含め、個人競技・団体競技である13種目、オープン競技として2種目が15会場で開催となり、約5,500人の選手、役員が参加した。

開会式会場の紀三井寺公園陸上競技場には、朝早くから多数の来場者があり、開会式直前には19,200人収容の観客席は来場者・見学の選手で満員となった。

今年の大会は44年ぶりに和歌山県で開催され「躍動と歓喜、そして絆」をスローガンに「可能性へのチャレンジ」「心温まる紀の国わかやまへ」「支え合う未来へ」を基本方針として参加者みんなで一体となつての大会運営となった。

開会式のオープニングイベントでは、紀州根来鉄砲隊の雷鳴を皮切りに、熊野古道の参詣者や、紀州灘を泳ぐ大きな鯨などが登場する、オープニングプログラム「紀の国のみち」を大会テーマ曲「明日へと」に載せて、演歌歌手の坂本冬美さんが熱唱し披露された。

選手団の入場行進は、皇太子殿下のご臨席を仰ぎ、南の沖縄県からスタートし、観客席で待機する選手団とともに会場からの大きな声援を受け、大阪府選手団169名、大阪市選手団112名、堺市選手団69名が、貴賓席の前を行進した。

大会開催中の2日間に渡り、可能な限り会場の取材を行った。いずれの会場も観戦者とともに関係者の姿が多く、大会関係者の熱心な競技運営やボランティア活動の場面も多々見受けられ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで5年を切り、選手の発掘を含めた障がい者スポーツの関心が高まる時期の大会となった。

障がい者スポーツ指導者の立場として、今回の大会を取材する中で

- ・大会の記録等を確認とともに、改めて各競技のルールを認識しておく。
- ・各競技でのボランティア協力者とともに、大会の運営に役立てること。
- ・選手への体力的なケアとともに精神的な支援をどこまでできるか。

などについて改めて感じる機会となった。

来年の大会は、岩手県にて平成28年10月22日(土)～24日(月)に開催される。

(広報・永島久義)



大阪府選手団



大阪市選手団



堺市選手団



炬火入場



炬火点火



炬火納火



水泳会場の天井は、木で出来ており暖かさを感じる



最終日、試合終了後に役員、ボランティアの皆さんでいきちゃんダンスを踊ってくれました



水泳会場
ふれあい広場



大阪障がい者スポーツ協議会・研修

平成 27 年 11 月 7 日（土） 9：30～12：00

大阪市舞洲障がい者スポーツセンター「アミティ舞洲」内 アリーナ

目 的 大阪府内の障がい者スポーツ指導員に対し障がい者の専門知識や、障がい者スポーツの指導方法を学び、今後の活動に役立てるものとする。

研修項目 ゴールボール競技のルールや指導方法の研修 ～ゴールボール選手を招いて～

今回はパラリンピック種目のゴールボールを実施。

講師には日本ゴールボール協会副会長の西村秀樹氏と日本ゴールボール協会運営委員 IBSA レベルワンレフェリー徳廣 洋一氏と女性の選手 3 名の計 5 名を招いてゴールボールの講義と実技をしていただきました。

ゴールボールは、第二次世界大戦の傷痍軍人のリハビリテーションとして考案され、アイシェード（目隠し）をしながら鈴の入ったボールを転がし、ゴールに入れることで得点する視覚障害者の球技の一つ。日本では、1982 年に競技の紹介がなされ、1992 年、財）日本身体障害者スポーツ協会により競技規則の翻訳が行われ、ゴールボールの全国的な紹介がなされました。

研修はまずコート作成から！バレーボールコートとほぼ同じで、コートラインの下には、直径 3 ミリのタコ紐が通されており、選手は手や足でラインを触って自分の位置を確認するためです。ラインテープにシワができないように丁寧に貼ることがコツのようです。

また、試合中選手は、完全に見えないようにスキーゴーグルタイプのアイシェードを着用。最初参加者はラインの位置すら分からないため自分がどこにいるか分からない状態でした。そして、ボールは男女ともに重さ 1.25 kg、鈴入りで円周は 76 cm、直径 1cm の穴が 8 か所あいている硬いゴムを使用するのですが、体を張ってボールを止めるので、当たればけっこう痛いです。

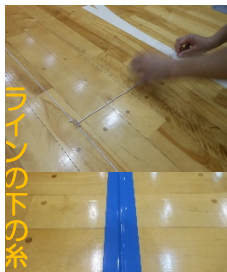
ゴールボールを、講師の先生からは経験を踏まえ大変分かりやすく、競技の楽しさ、魅力、ルールを目いっぱい教えていただきました。参加者においては、全員熱心に取り組まれ、初めて方が多かったのですが一生懸命プレイされている姿が印象的でした。



最後に試合をしました

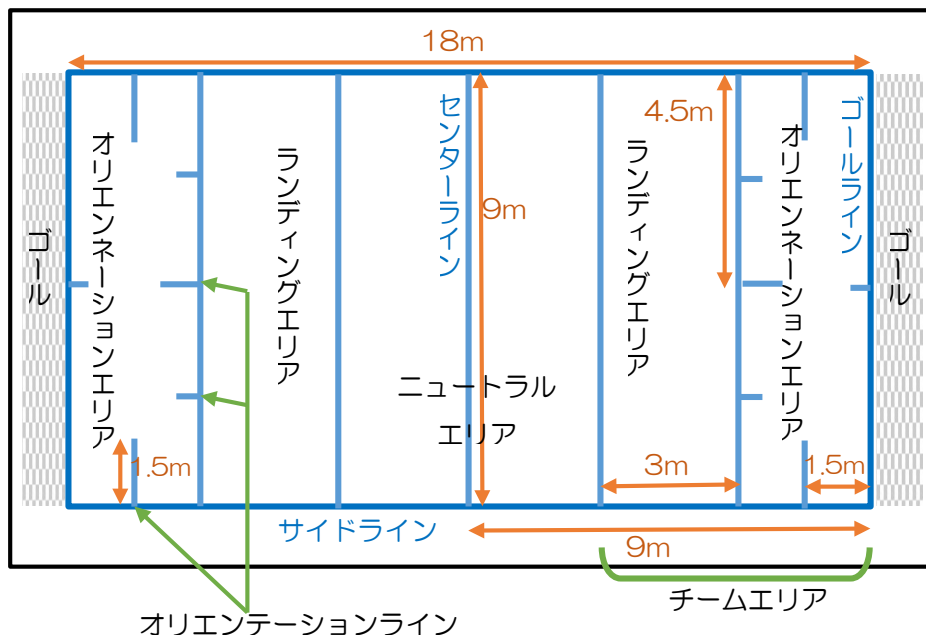
ゴールボール

日本ゴールボール協会HP・かんたん！ゴールボールガイド（日本障がい者スポーツ協会）参照



ラインアウトライン

ラインアウトラインを除くコート内のラインには、床との間に糸をとおしてその上からテープが貼られていて凹凸がある。選手はこの凹凸の感触を頼りに自分の位置を確認している。



ゴールボールは、鈴の入ったボールを互いに投げ合い、得点を狙う対戦型競技。選手は音をたよりに競技するため、観客は競技の妨げにならないよう、プレー中に声を出して応援することができない。

コートの広さは18m×9mで、6人制バレーボールのコートと同じ広さ

試合時間

- ・正規時間(レギュラータイム)：12分ハーフ（前半12分・後半12分）、ハーフタイム3分
- ・延長戦(オーバータイム)：正規時間内で同点の場合は延長戦を行う。3分ハーフ（前半3分・後半3分）、ハーフタイム3分のゴールデンゴール方式（どちらかが得点した時点で終了）で行う。
- ・エクストラスロー：延長戦でも決着がつかない場合は、1対1のエクストラスローで勝敗を決める。

ペナルティスローになる反則

ハイボール	攻撃側のチームエリア又はランディングエリアに触れずに守備側へ投球された場合
ロングボール	投球されたボールが、攻撃側のチームエリアまたはランディングエリアに触れた後、ニュートラルエリアに触れなかった場合
ショートボール	投球されたボールが、攻撃側のチームエリアまたはランディングエリアに触れなかった場合
アイシェード	ゲーム中、選手がレフェリーの許可なくアイシェードに触れた場合
ノイズ	投球する選手が、守備側に不利になるような音を出したと見なされた場合
10セカンズ	投球されたボールに守備側の選手が最初に触れ、相手に投げ返したボールが10秒以内にセンターラインを越えなかった場合
イリーガルコーチング	オフィシャルブレイク中（ゲームタイマーが止まっている間）以外に、ベンチにいるコーチ等がコート内の選手に指示を行った場合

ボールの所有権が移る反則

ボールオーバー	守備をして跳ね返ったボールがセンターラインを越えた場合、もしくはニュートラルエリアのサイドラインを越えてコート外へ出た場合
プリマチュアスロー	レフェリーの「プレイ」のコールの前に投球した場合
デッドボール	投球されたボールが相手プレーヤーに触れることなくチームエリアで止まった場合
パスアウト	ゲーム中、味方にパスしたボールがコートの外へ出た場合